

機械器具1 手術台及び治療台 診療・処置用椅子 (16437000)  
一般医療機器

耳鼻科用診療椅子 SN-XⅢ

【警告】(\*<sup>3</sup>)

- ・ 本装置を操作する前に必ず、可動範囲に子供など人がいないか、障害物がないかを確認してから行ってください。  
【ケガや器械の破損・故障などの恐れがあります。】
- ・ 操作中は機器の可動部に身体や衣服を巻き込まないよう患者の姿勢に注意してください。  
【ケガや器械の破損・故障などの恐れがあります。】
- ・ 額帯反射鏡用電灯部分は、手や指を挟まないように注意してください。  
【ケガや器械の破損・故障などの恐れがあります。】
- ・ 照明光が点灯している時は、光を直視しないこと。  
【目に悪影響を及ぼす恐れがあります。】

【禁忌・禁止】(\*<sup>3</sup>)

- ・ 本製品は安全性を保つためにも改造・分解・加工をしないこと。  
【故障、破損、性能の劣化、事故の原因になります。】
- ・ 移動の際は、電源コード・フットスイッチを本体から外してください。  
【コードが引っかかり、破損やケガをする恐れがあります。】
- ・ 移動の際は、取っ手・アームレスト・アーム・ステップ以外の部分を持たないでください。  
【リアカバー・サイドカバーなどを持つと破損やケガをする恐れがあります。】

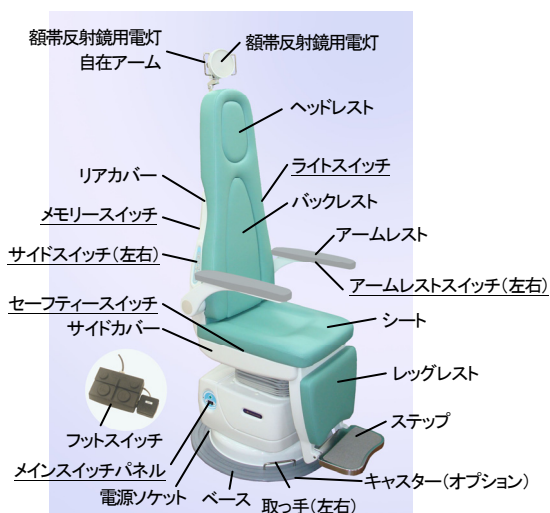
【形状・構造及び原理等】(\*<sup>2</sup>、<sup>3</sup>)

1. 構造

本装置は、各モータ(昇降・リクライニング・回転)を搭載した椅子本体＋額帯反射鏡用電灯(電灯付きタイプ)・フットスイッチ・電源コードで構成されている。オプションとしてキャスター、回転動作の電動式を付けることができる。

2. 形状

電灯付きタイプ



電灯なしタイプ



アームレスト…材質:ウレタンフォーム

ヘッドレスト、バックレスト・シート・レッグレスト…

材質:塩化ビニルレザー

3. 原理

メインスイッチを ON にすると、制御回路が入力待ち状態となる。

椅子本体に搭載されている各スイッチ又は外付けのフットスイッチを使用することにより、各モータ(昇降・リクライニング・回転)が動作し、シートの昇降、バックレストのリクライニング、椅子の回転ができる。医師の診察や診療・処置を行いやすい位置に椅子を回転・昇降・リクライニングさせて調節し、決まった位置に固定して椅子に座った患者を支持する。

電灯付きタイプの額帯反射鏡用電灯は額帯反射鏡を照明するために装備されている。

4. 電気的定格

定格電源 : 100V～ 50-60Hz

電源入力 : 420VA

5. 寸法及び質量

〈寸法〉(単位 mm)

電灯付きタイプ

580(幅)×680(奥行)×1865(最高位の高さ)

リクライニング水平時:2030(奥行)

ベース直径:φ610

電灯なしタイプ

580(幅)×680(奥行)×1725(最高位の高さ)

リクライニング水平時:1890(奥行)

ベース直径:φ610

〈質量〉

110 kg

取扱説明書を必ずご参照ください。

## 6. 機器の分類 (医用電気機器 JIS による分類)

### 安全 (JIS T 0601-1:2012,2014)

|                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 電撃に対する保護の形式による分類 | : クラス I の ME 機器   |
| 電撃に対する保護の程度による   | : B 形装着部をもつ機器     |
| 装着部の分類           |                   |
| 水の有害な浸入に対する      |                   |
| 保護の程度            | : IPX1(フットスイッチ部分) |
| 作動(運転) モード       | : 間欠作動(運転)機器      |

### 電磁両立性(EMC) (JIS T 0601-1-2:2012)

電磁妨害(エミッション)のグループ区分とクラス分け  
(CISPR 11 による分類)

|       |          |
|-------|----------|
| 機器の動作 | : グループ 1 |
| 使用環境  | : クラス B  |

### 【使用目的又は効果】(\*<sup>3</sup>)

手動又は電動等で駆動し、耳鼻咽喉科等の診察や治療・処置するために患者を座らせて使用する椅子である。

### 【使用方法等】(\*<sup>3</sup>)

- 椅子本体を平らな床に設置し、電源コードとフットスイッチコードを電源ソケットのコネクタ部に確実に接続する。
- メインスイッチを **ON** にし、ランプ(緑色)が点灯し、電源が入ったことを確認する。
- 各スイッチを使用することにより、昇降動作(電動式)、リクライニング動作(電動式)、回転動作(手動式) / (電動式)を行うことができる。
- 昇降動作(電動式)について
  - サイドスイッチの **上昇スイッチ** または、フットスイッチの **UP スwitch** を押している間シートが上昇する。上まであがりきるか、スイッチから指/足を離すと停止する。
  - サイドスイッチの **下降スイッチ** を押している間シートは下降する。または、フットスイッチの **DOWN スwitch** を一度踏むと、シートは下降する。下まで下がりきるか、もう一度スイッチを踏むと停止する。
- リクライニング動作(電動式)について
  - サイドスイッチの **倒すスイッチ** または、フットスイッチの **倒すスイッチ** を押している間バックレストは倒れる。水平まで倒れきるか、スイッチから指/足を離すと停止する。
  - サイドスイッチの **起きるスイッチ** または、フットスイッチの **起きるスイッチ** を押している間、バックレストは起き上がる。垂直まで戻りきるか、スイッチから指/足を離すと停止する。
- 回転動作(手動式)について
  - サイドスイッチの **回転ロックスイッチ** を一度押すと、回転ロックが解除され、手で椅子を回転させることができる。もう一度スイッチを押すと、回転ロックがかかる。(ロック解除は 5 分経過すると自動でロックの状態に戻る。) または、**アームスイッチ** を押している間、回転ロックが解除され、手で椅子を回転させることができる。スイッチから指を離すと、回転ロックがかかる。
- 回転動作(電動式)について
  - フットスイッチの **L スwitch** を踏んでいる間、椅子は左回転し、**R スwitch** を踏んでいる間、椅子は右回転する。回転終端まで回りきるか、スイッチから足を離すと停止する。なお、バックレストが 20° 以上傾斜している時は、サイドスイッチの回転禁止灯が点灯し、危険防止のため、自動回転ができない。サイドスイッチの回転ロックランプが点灯中でも **アームスイッチ** を押している間は、手で回転ができる。
- 額帯反射鏡用電灯(電灯付きタイプ)  
ライトスイッチを押すと点灯します。額帯反射鏡用電灯自在アーム部を動かすことにより、額帯反射鏡用電灯が中心より左右 110° 動きます。
- その他機能について
  - メモリースイッチ機能  
シート高さ・リクライニング角度・回転位置(オプション)を記憶し、ワンタッチで記憶した位置まで動かすことができる。

### (1-1) メモリー方法

- 記憶させる位置まで、昇降・リクライニング・回転(オプション)の各動作を行う。
  - 昇降、リクライニングで、戻す動作(例: 上昇してから下降)を行うと正しい位置を記憶できない。
- M1** **M2** **M3** スwitch を約 5 秒間押し続けるとピッとという電子音が 1 回 (**M2** は 2 回・**M3** は 3 回) なり、記憶完了となる。

### (1-2) メモリー動作

- M1** **M2** **M3** スwitch を押す(5 秒以上押し続けると、記憶させた位置が上書きされる。)と電子音が 1 回 (**M2** は 2 回・**M3** は 3 回) なり、記憶した位置まで動作する。
  - メモリー動作中に **ヘッドスitch** 以外のいずれかのスitch を押すと、各動作が停止する。
  - メモリー動作中に誤って電源を切った場合は、**AUTO** **RETURN スwitch** を一度踏んで、原点位置に戻してから使用する。
  - 回転動作が電動式(オプション)の場合は、リクライニング角度が 20° 以上傾斜しているときは、一度傾斜が 20° 未満まで戻ってから動作する。

### (2) セーフティースイッチ機能

メインスitch パネル側サイドカバーの内側にある **セーフティースitch** を引っ張りながら手前側に倒すと、**サイドスitch (右側)**・**サイドスitch (左側)**・**メモリースitch** にロックが掛かり、それぞれ操作が行えない状態にすることができる。(フットスitch・ヘッドスitch での操作は行える。) **セーフティースitch** を引っ張りながら奥側に倒すとロックが解除され、各操作が行える状態になる。

### (3) オートリターン機能

フットスitch の **AUTO RETURN スwitch** を一度踏むと、各動作を原点の位置に戻すことができる。(シートは一番下まで下がり、バックレストは垂直まで起き上がる。回転動作が電動式の場合(オプション)は、正面に戻る。) オートリターン動作中に **ヘッドスitch** 以外のスitch 操作を行うと、各動作はその場で停止する。

### (4) キャスター機能 (オプション)

フットスitch の **AUTO RETURN スwitch**、回転動作が手動式の場合は **アームスitch** を押し椅子の位置を原点に戻す。メインスitch パネルの O.K. ランプが点灯していることを確認し、**CASTER スwitch** を押すと、ベース下よりキャスターが出てくる。(キャスターでの移動は本装置を設置している部屋内です。) 移動後、メインスitch を **ON** にし、**CASTER スwitch** を押してキャスターを格納する。

### 【使用上の注意】(\*<sup>3</sup>)

#### (重要な基本的注意)

- その他の注意
  - 本製品は医科向けのため、医師または医師の指導を受け指名された者以外は操作を行わないこと。
  - 本装置を設置するときには、次の事項に注意すること。
    - 水のかからない場所に設置すること。
    - 気圧・温度・湿度・風通し・日光・ほこり・塩分・イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置すること。
    - 傾斜・振動・衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
    - 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
    - 電池電源の状態(放電状態・極性など)を確認すること。
    - 電源及びアースの接続が適切に接続されていること。本製品に設定されている電源の周波数と電圧に、使用場所の電圧が対応していること。
    - 電源コード(接地形電源プラグ)は、医用コンセントに接続されていること。
  - 本装置を使用する前は次の事項に注意すること。
    - スitch の接触状況・極性・ダイヤル設定・メーター類などの点検を行い、機器が正確に作動することを確認すること。

- ・アースが完全に接続されていることを確認すること。
- ・全てのコードの接続が正確かつ完全であることを確認すること。
- ・機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険を起こす恐れがあるので、十分注意すること。
- ・電源を確認すること。
- 本装置の使用中は次の事項に注意すること。
  - ・診断・治療に必要な時間・量を超えないように注意すること。
  - ・機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
  - ・機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
  - ・機器に患者が触れないよう注意すること。
- 本装置使用後は次の事項に注意すること。
  - ・定められた手順により操作スイッチ・ダイヤルなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。
  - ・コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
  - ・付属品・コードなどは清浄したのち、整理してまとめておくこと。
  - ・装置は次の使用に支障のないよう必ず清浄しておくこと。
- 故障したときは、勝手にいじらず、適切な表示を行い、修理は当社トレーニングを受けた専門家に依頼すること。
- 本装置をしばらく使用しなかった後に使用を再開する場合は、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認すること。
- フットスイッチコード、信号コード、電源コードを接続する際及びお手入れの際は必ず電源プラグを固定電源ソケット(コンセント)から抜いてください。(感電やケガをする恐れがあります。)
- 使用しない時は、必ず電源プラグを固定電源ソケット(コンセント)から抜いてください。(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。)
- 電源プラグの抜き差しは濡れた手で行わないでください。
- (感電やケガをする恐れがあります。)
- 強い電磁波を発生する機器(電気メス等)の使用時は、本装置の電源を OFF にしてください。(誤作動を起こす可能性があります。)
- 発火・火花または異臭がする場合は直ちに使用を中止し、弊社に御連絡ください。
- 本装置に当社指定外の機器やアクセサリを接続する際は、弊社に必ずご確認ください。
- 本装置を操作する前に、昇降・回転・リクライニングの動きを十分理解したうえで、ご使用ください。
- 本装置を電動操作する際は、額帯反射鏡用電灯をまわりの障害物に接触させないよう注意して下さい。
- 各スイッチはボールペンや爪など、先の尖ったもの、硬いものでついたり操作しづらいしないでください。(故障、破損、誤作動の原因になります。)
- キャスターが出ている状態で、本装置に乗らないでください。(故障やケガをする恐れがあります。)
- キャスターで移動できる範囲は、本装置を設置している部屋内です。施設内で段差があるような場所へ移動する際は、取っ手・アームレストアーム・ステップ部分を持つか及び台車に乗せて移動させてください。(故障やケガをする恐れがあります。)

#### 【保管方法及び有効期間等】(\*<sup>3</sup>)

(保管方法)

- ・水のかからないところに保管すること。
- ・気圧、気温、湿度、直射日光、風通し、ほこり等、悪影響を生ずるところには保管しないでください。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所には保管しないでください。
- ・長い期間使用しない場合は、布もしくはビニール袋で覆って保管してください。
- ・保管・設置環境  
周辺温度 10～40°、湿度 30～75%

(耐用期間)

使用開始から 7 年とする。【自己認証(当社データ)による】

#### 【保守・点検に係る事項】(\*<sup>3</sup>)

- ・何らかの問題が発生した場合は、速やかに弊社又は弊社指定の販売店に連絡し、適切な処置を行ってください。
- ・医療機器の使用保守の管理責任は使用者側にあります。機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。
- ・本装置の清掃、消毒について  
清掃や消毒をする場合は、必ず電源を切り電源コードを抜いてから行ってください。[感電、故障の原因になります。]

#### 【清掃の方法】:

- ・塗装面・レザー面は、布などを水又はぬるま湯に浸してよく絞ってから拭き、さらに乾いた布などで乾拭きをする。汚れがひどい場合は、市販の家庭用中性洗剤を布などに浸けよく絞ってから拭くこと。
- ・装置の設置付近は、ホコリ等が溜まらないように常に清潔な状態を保つこと。
- ・装置の周辺を清掃する場合は、必ずよく絞ったモップ等で清掃を行なうこと。
- ・長い期間使用しない場合は、布もしくはビニール袋で覆って、保管すること。

#### 【消毒の方法】:

- ・塗装面の消毒には「クレゾール石鹼液を 50～100 倍に希釈したもの」・「塩化ベンザルコニウム液、オスバン 10%消毒剤を 50～100 倍に希釈したもの」を使用できます。
- ・レザー面の消毒には「消毒用エタノール(日本薬局方規格)」・「クレゾール石鹼液を 50～100 倍に希釈したもの」・「塩化ベンザルコニウム液、オスバン 10%消毒剤を 50～100 倍に希釈したもの」を使用できます。

[消毒を行うときは、必ず先に家庭用中性洗剤等で清掃を行ってから、消毒をしてください。清掃しないで消毒を行っても、十分な殺菌効果は得られません。]

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】(\*<sup>3</sup>)

製造販売業者



永島医科器械株式会社

TEL.03-3812-1271

製造業者

永島医科器械株式会社 第二工場  
永島医科器械株式会社 第三工場